

第5回大野市生涯学習推進計画策定委員会 議事録

日時：令和4年1月21日（金）19時～20時30分

場所：学びの里「めいりん」2階 洋室大

1 開会

出席委員9名、欠席委員2名

2 委員長あいさつ

大学では本日からまたリモート講義に変わって、対面講義を中止している状況である。先日の土日に大学入学共通テストがあり、その監督業務をした。毎年、高校生に交ざって必ず一人の年配の方が受験されているが、それも生涯学習のひとつの形ではないかと思った。

この生涯学習推進計画策定委員会は、本日で最後となるが、今一度皆様のお力をお貸しいただければと思う。よろしくお願ひしたい。

3 議事

(1) 報告事項

○パブリックコメントの実施結果について

(説明概要)

- ・12月1日から15日までの15日間においてパブリックコメントを実施し、その結果、提出者が4人で提出意見が13件であった。
- ・13件のうち1件について、計画の修正が必要と判断して反映している。
- ・市のホームページにて12月27日から市の考え方を公表している。

(2) 協議事項

○生涯学習推進計画案について

(説明概要)

- ・パブリックコメントの意見と12月末に開催した部長会議の意見の反映、その他修正を行った。
- ・市の各種計画の表紙を統一することとしたため、表紙右上のONの表示を削除した。
- ・4ページの(5)大野市文化財保存活用地域計画の説明において、(仮称)と(策定中)を削除した。
- ・6ページの(3)第6期科学技術・イノベーション基本計画の説明において、パブリックコメントで意見のあった「Society 5.0」の文字間を狭くして表示した。
- ・10ページの6進行管理において、成果指標の参考としている第六次総合計画の指標を表示した。
- ・31ページのゆいぴーの吹き出しに、「キーワードは、「助け合う」「声掛け合う」「遊び合う」「教え合う」だね。」を追加した。
- ・39ページの1策定経過にパブリックコメントと第5回策定委員会の実施日を追加した。

(質疑応答)

委員長：事務局から説明のあった計画案とパブリックコメントに関して、ご意見があればお願ひし

たい。

委員：3ページで(3)大野市水循環基本計画と(4)第三期大野市環境基本計画を入れ替えたとの説明だが、9ページの右下の表もそれに合わせて入れ替えたほうがよい。それと10ページの参考成果指標の図書館の利用回数について、生涯学習推進計画を読んで図書館に行く人が具体的にこうしたら増えるというのが、どうもピンとこない。第六次総合計画には書いてあるのかもしれないが、この計画に入れるのはどうかと思う。

事務局：1点目については、3ページに合わせて修正する。2点目の図書館の利用については、27ページで「幼児から高齢者までいろいろな本と出会う機会を提供します」、36ページで「市民の学習意欲に応えられるよう、図書館の蔵書や情報機器の充実に取り組みます」との取り組みを挙げており、やはり指標として挙げたほうがよいと考えている。物足りないというのであれば何か取り組みを追加するか、なければ削除してしまう手もあるが、ひとつの指標として必要だと思っている。

委員：この3つの指標が計画の中身とリンクしているということで載せたと考えてよいか。

事務局：そうである。

委員：内容的には、随分吟味されているので特別なないが、文言の統一を図る必要があると思う。23ページと概要版見開きの「基本方針1ひとづくり」という大きなテーマにおいて、【地域を担う人づくりを推進します】としているが、ひらがなの「ひと」はいろいろな意味合いを含めた「ひと」という捉え方があり、括弧書きのところの「人づくり」は、あくまでもスポットを当てたその人というような捉え方をしたらいいのかなと思ったり、あるいはもうひらがなに統一した方がいいのかなと思ったりする。自分自身も戸惑いがあるがいかがか。また、23ページの「基本方針2」の文章の4行目で「支え合う仕組みが作られれば」とあるが、「作る」という言葉は、これもいろいろな意味合いを込めており、創造的なものとか作為的に作るとかの意味があるので、ひらがなが適当だと思う。24ページの基本方針2の(1)では「地域で支える仕組みづくり」と、ここはひらがなになっているので、やはり自分はひらがなの方が望ましいと思う。同じ観点で、概要版の「基本方針3学ぶ場づくり」の取り組みで、「県内外の大学との連携を深め、より専門的な学びの機会作り」とあるが、この文章自体がスッと入ってこない。「より専門的な学びの機会作り」は何かおかしいと思わないか。聞いていて落ち着かない感じがする。例えば文章の流れとして「県内外の大学との連携を深め、より専門的な学びの機会を構築」というふうにした方がよいのではないか。反芻してみていかがか。「機会作り」とするならば、ひらがなにしたいほうがよい。右側のインターネットの「学びの機会作り」もひらがなにすべき。かめじろうの吹き出しの「誰もが学べる環境をみんなで作ります。」もひらがなが適当かと思う。32ページの焼き芋をしているキャラクターの吹き出し「子どもたちに」だが、これまで子どもの「子」だけは漢字で統一してきたはずなので、漢字にすべきである。

事務局：最後の「子ども」の「こ」は漢字に修正する。概要版のそれぞれの取り組みは、計画の文言を縮めて表記している。統一して全てひらがなとさせてもらった方が、見やすいかと思うので、委員指摘のとおりひらがなに直すということよいか。

委員長：第六次総合計画を見ると「つくります」や「づくり」というところがひらがなで書かれているようなので、その方がいいかもしれない。

委員：「作り」の漢字をひらがなにするだけでよい。計画案の文章を縮めたものを表記している

概要版ということで、これでよいと思う。

委員長：あと「人」も全てひらがなにするか。広い意味合いを持たせるということで。

事務局：基本方針の「人づくり」は、全てひらがなの「ひとづくり」に統一するというので、修正する。

委員長：第六次総合計画で「人づくり」が漢字のところもあるが、合わせなくても大丈夫か。

事務局：この部分は合わせずに考えればよいと思う。委員会の協議結果を示せばよい。

委員長：では、ひらがなで統一することとする。

委員：一つ訂正願う。概要版の基本方針2で「幼稚園や保育園、小中学校での・・・」という表記があるが、計画案で名称の表記と一部名称が異なっているので統一する必要がある。

事務局：修正する。

委員：パブリックコメントについて聞くが、意見を出された方は4人ということで、複数の意見があったということか。意見は何か哲学の話なのかというところがあって、自分には分からない部分があったが、やはりしっかり計画案を読まれた方もいらっしゃるのだと思った。

事務局：1人で多くの意見を提出された方もいる。

委員長：4人で13件というのは、他のパブリックコメントと数字的にいかがか。

事務局：第六次総合計画の前期基本計画は15件だった。環境基本計画は10件、小中学校再編計画は7人で13件。この生涯学習推進計画と同時期にパブリックコメントを行った健幸おの21は1団体で1件、スポーツ推進計画は2人で2件、文化財保存活用地域計画は5人で9件となっている。

○概要版について

(説明概要)

- ・概要版の事務局案として、計画書本体をA3両面二つ折りにまとめた。
- ・表紙の文言は、計画の目的から抜粋して表記している。
- ・中身は、左に基本目標、中央に基本方針と取り組みを表記し、それらを下の情報発信の強化で支えるという形にしている。
- ・右上に生涯学習活動の連携図、右下に「わたしたちができること、みんなでできること」を表示。
- ・裏面が計画の期間と成果指標、生涯学習ガイドブックの紹介、市のホームページにつながるQRコードを表記している。その下に、計画の「はじめに」から抜粋した文言を表記している。

(質疑応答)

委員長：概要版に関しては、計画案と同様の内容になっているので構成について意見いただきたい。これは入れた方がいいのではないか、これ外した方がいいのではないかという指摘を加えていただきたい。

委員：生涯学習推進計画の冊子は、第六次総合計画のように一家に一冊か。概要版はどうなるのか。

事務局：計画書本体は、150部しか印刷しないため、配布先は限定している。概要版は1万2千部を印刷して全戸配布の予定である。

委員：QRコードを読み取るとどこにつながるのか。

事務局：大野市のホームページの生涯学習推進計画のページにつながる。

委員：この計画が全て表示されるということか。

事務局：計画の表示に合わせて生涯学習ガイドブックも表示する予定である。

副委員長：概要版右下の「わたしたちができること、みんなのできること」の吹き出しに読点があるが、他には読点がないのは何か意図的に使い分けて表記しているのか。

事務局：意図的に使い分けているわけではない。

委員：QRコードを読み込んで大野市のホームページにつながった場合に、この生涯学習ガイドブックをもっと分かるように工夫できないか。

事務局：同じページに計画とガイドブックを載せる予定だが、パブリックコメントでも表示していた通り、計画は章ごとで分けて載せようと思っている。生涯学習ガイドブックの掲載は、わく湧くお届け講座や人材活用登録を分けて表示する予定である。

委員：ガイドブックはとてもいいものなので、特にホームページへの掲載を希望する。

委員：概要版にも表記している参考成果指標の「18歳以下の子ども」という表現は適しているのか。「未満」ではないのか。成人の扱いになると思うが。

委員：18歳はまだ高校生なので、ここは以下でいいと思う。

委員長：この表記は、高校生を含めたという意味合いを持たせていると思う。いずれにしてもこれは第六次総合計画の指標なので修正することはできない。

委員：第六次総合計画の成果目標について、例えば図書館では市民1人当たりの年間図書館利用回数の目標を3.20回にしているが、これは新規に図書館に来る人を増やしての目標数値なのか、リピーターを増やしての目標数値なのかどちらだったのか。これによってやる事が変わってくると思う。商売的なものの考え方だと、おそらくリピーターを増やした方がこの目標は達成しやすい。それをしっかり明確にしてほしい。例えば今後ガイドブックを作るのでも、講座を受けている人の「この先生優しいんや」という言葉があったり、先生の顔写真があったりなど、手を加えてガイドブックを作ってほしいと思う。

事務局：この成果目標は、リピーターの増加を目的にしている。大野市民の人口減少により、なかなか新規開拓が難しい現状があり、リピーターということでこの数字は上がっていることから、それに向けて取り組んでいきたいと思っている。

委員：先ほどの概要版で読点の話があったが、吹き出しには全て感嘆符「！」を付けてはどうか。読点では寂しい。

委員長：個人的には裏面の吹き出しには感嘆符を付けていいかと思う。付けすぎるとあまり強調がなくなるため、二つぐらいでいいという気がする。

副委員長：黒枠の部分が他と意味合いが違うのであれば、読点を付けるという手もあるが、自分は全て付けなくてもいいと思う。

委員長：吹き出しは読点を付けないということで統一し、感嘆符は裏面の中央の二つの吹き出しに付けることでよいか。

各委員：異議なし。

委員：せっかくキャラクターを載せているが、名前が分からないのがある。ただ、ここに名前を表示するとごちゃごちゃするので、例えば「このQRコードを読み込んだら名前が分かるよ」みたいにすると子どもも見るとかと思うがどうか。そうすることにより子どもと一緒に母親が見るのではないかと思う。おとしょちゃんが図書館のホームページにあるのであれば、そこから図書館にもつなげてはどうか。

事務局：検討させていただきたい。概要版については、委員長と事務局とで調整や修正を行うことで一任させていただきたいがいかがか。

委員長：それでよいか。

各委員：異議なし。

委員長：会議はこれで最後となるが、何かあった場合に今後の計画の修正は可能なのか。

事務局：計画本体については、この会議での意見を最終としたい。概要版については、3月中に印刷する予定なので、2月中でも気付いた点を連絡いただければ、委員長と相談して修正することは可能である。結果はまた委員にご連絡する。

(3) その他

事務局：今後のスケジュールとして、1月25日に定例教育委員会に計画案を議案として提出し、承認を得られれば計画策定となる。3月中に計画書を150部、概要版を12,000部印刷して、概要版を全戸配布という予定である。

3 閉会

副委員長：5回に渡った策定委員会だが、いろいろな意見、感想、本音の話が聞け、非常に楽しかったと感じている。委員長には遠く福井から大野まで何回も来ていただき、また、委員の見えないところで、事務の打ち合わせなどで関わっていただいたことに心からお礼申し上げたい。今、コロナ禍にある中で、こうした計画が仕上がったということで本当にうれしく思っている。この策定に関わられたことを誇りと思いたいと思う。来年度、この計画が動き出すが、今後は皆さまとともに、大野市民の一員として生涯学習に参加していきたいと思うので、どうかお力添えをいただきたい。皆さま本当におつかれさまでした。